平成31年旭市議会第1回定例会会議録

議事日程（第5号）

平成31年3月19日（火曜日）午前10時開議

- 第 1 常任委員長報告
- 第 2 質疑、討論、採決
- 第 3 常任委員長請願報告
- 第 4 質疑、討論、採決
- 第 5 常任委員長陳情報告
- 第 6 質疑、討論、採決
- 第 7 事務報告
- 第 8 閉 会

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 常任委員長報告
- 日程第 2 質疑、討論、採決
- 日程第 3 常任委員長請願報告
- 日程第 4 質疑、討論、採決
- 日程第 5 常任委員長陳情報告
- 日程第 6 質疑、討論、採決
- 追加日程第1 発議案上程
- 追加日程第2 提案理由の説明
- 追加日程第3 質疑、討論、採決
- 追加日程第4 議案上程
- 追加日程第5 提案理由の説明
- 追加日程第6 議案の補足説明
- 追加日程第7 議案質疑
- 追加日程第8 討論、採決
- 日程第 7 事務報告

出席議員（18名）

1番	片桐文夫	2番	平山清海
3番	遠藤保明	4番	林晴道
6番	米本弥一郎	7番	有田恵子
8番	宮内保	9番	高木寛
10番	飯嶋正利	11番	宮澤芳雄
12番	伊藤保	13番	島田和雄
15番	伊藤房代	16番	向後悦世
17番	景山岩三郎	18番	木内欽市
19番	佐久間茂樹	20番	高橋利彦

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	加瀬正彦
教育長	諸持耕太郎	秘書広報課長	伊藤義隆
行政改革 推進課長	小倉直志	総務課長	飯島茂
企画政策課長	阿曾博通	財政課長	伊藤憲治
税務課長	石毛春夫	市民生活課長	宮負賢治
環境課長	井上保巳	保険年金課長	遠藤茂樹
健康管理課長	木内喜久子	社会福祉課長	角田和夫
子育て 支援課長	小橋静枝	高齢者 福祉課長	浪川恭房
商工観光課長	小林敦巳	農水産課長	宮内敏之
建設課長	加瀬喜弘	都市整備課長	鶴之沢隆
下水道課長	高野和彦	会計管理者	松本尚美
消防長	川口和昭	水道課長	加瀬宏之
庶務課長	栗田茂	学校教育課長	佐瀬史恵

生涯学習課長
監査委員局長

高 安 一 範
伊 藤 義 一

体育振興課長
農業委員局長

花 澤 義 広
赤 谷 浩 巳

事務局職員出席者

事務局 長

大 矢 淳

事務局 次長

池 田 勝 紀

開議 午前10時 0分

○議長（向後悦世） おはようございます。

ただいまの出席議員は18名、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

○議長（向後悦世） 議案第1号から議案第25号までの25議案及び請願第1号の請願1件並びに陳情第1号から陳情第3号の陳情3件を議題といたします。

各常任委員会に付託いたしました議案等の審査結果は、お手元に配付のとおりであります。

配付漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 配付漏れないものと認めます。

◎日程第1 常任委員長報告

○議長（向後悦世） 日程第1、常任委員長報告。

これより各常任委員会に付託いたしました議案審査の経過と結果について、各委員長の報告を求めます。

初めに、建設経済常任委員会委員長、宮内保議員、ご登壇願います。

（建設経済常任委員長 宮内 保 登壇）

○建設経済常任委員長（宮内 保） おはようございます。

建設経済常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月4日、本会議において本委員会に付託されました議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第6号、平成31年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について、議案第7号、平成31年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、議案第8号、平成31年度旭市水道事業会計予算の議決について、

議案第9号、平成30年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第11号、平成30年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について、議案第12号、旭市森林環境整備基金条例の制定について、議案第13号、旭市企業誘致及び雇用の促進に関する条例の制定について、議案第24号、旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第25号、市道路線の認定、廃止及び変更についての10議案であります。

去る3月12日午前10時より、委員会室において議案説明のため、執行部より副市長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催しました。

それでは、審査内容について質疑とその答弁内容を申し上げます。

議案第1号の主な質疑3点について申し上げます。

1点目として、農村公園維持管理費について。農村公園は、市内に何か所あり、樹木剪定等の委託料の具体的な内容はどの質疑では、農村公園は条例等に基づいて指定している4か所と類似する施設3か所の、併せて7か所を農村公園として管理をしている。樹木剪定等の委託料については、東足洗の農村公園にある樹木の枝が隣接する民地にはみ出しており、高木のため業者に剪定を依頼するものとの答弁がありました。

次に、2点目として、長熊釣堀センターについて。新年度の入り込み客数の見込みと最近の状況、また収支の状況はどの質疑では、新年度の入り込み客は9,900人を予定している。直近の入り込み客数の状況ですが、平成29年度1万2,634人、平成30年度は2月末現在で1万人強となっている。収支の状況は、平成29年度の収支が1,218万8,428円、支出が1,021万288円で、若干収入のほうが上回っている。平成30年度は集計が済んでいないが、魚を放流する費用等の関係で若干支出のほうが上回る見込みとの答弁がありました。

最後に、3点目として、急傾斜地崩壊対策事業について。市内で急傾斜地危険地域に指定されている箇所が何か所あり、千葉県が行う事業の計画はあるかとの質疑では、急傾斜地危険区域については、市内で8か所指定されている。また、現在千葉県が事業主体として、海上地区見広で事業の準備を進めているとの答弁がありました。

以上、質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告書のとおり議案第1号、議案第8号、議案第9号は賛成多数で、その他の議案は全員賛成で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告をします。

平成31年3月19日、建設経済常任委員長、宮内保。

○議長（向後悦世） 建設経済常任委員長の報告は終わりました。

続いて、文教福祉常任委員会委員長、飯嶋正利議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 飯嶋正利 登壇）

○文教福祉常任委員長（飯嶋正利） おはようございます。

文教福祉常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月4日の本会議において本委員会に付託されました、議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第3号、平成31年度旭市国民健康保険特別会計予算の議決について、議案第4号、平成31年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、議案第5号、平成31年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、議案第9号、平成30年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会の所管事項について、議案第10号、平成30年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、議案第17号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第18号、旭市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第19号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第20号、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第22号、旭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第23号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についての12議案について、審査過程並びに結果を申し上げます。

去る3月13日午前10時より、議会委員会室において、議案説明等のため執行部より、教育長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容について申し上げます。

議案第1号の主な質疑3点について申し上げます。

1点目として、老人クラブ活動促進事業の具体的な内容はどの質疑では、すこやかシニアクラブ旭組織強化対策事業補助金として、新設されたクラブに1クラブ10万円、会員が増えた場合、1人2,000円を助成している。また、老人クラブ活動等社会活動促進事業補助金として、地域の単位クラブに1クラブ4万6,000円と、1人当たり150円を助成しているとの答弁がありました。

2点目として、はり・きゅう・マッサージ等利用助成事業の具体的な内容はどの質疑では、70歳以上の高齢者に対して、はり・きゅう・マッサージまたは指圧の費用の一部を助成している。利用者に利用券を交付し、施術者の申請により給付を交付する。利用券は月2枚以内

の使用とし、年間12枚以内としている。助成額は1枚につき1,000円分となっているとの答弁がありました。

3点目として、緊急通報体制等整備事業について、地区別の設置状況はどの質疑では、平成30年度地区別の設置状況は、旭地域141台、海上地域32台、飯岡地区34台、干潟地区20台の計227台となっているとの答弁がありました。

以上、主な質疑と答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告のとおり12議案とも全員賛成で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおりご報告いたします。

平成31年3月19日、文教福祉常任委員長、飯嶋正利。

○議長（向後悦世） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

続いて、総務常任委員会委員長、伊藤保議員、ご登壇願います。

（総務常任委員長 伊藤 保 登壇）

○総務常任委員長（伊藤 保） 総務常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月4日の本会議において本委員会に付託されました議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第2号、平成31年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について、議案第9号、平成30年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第14号、旭市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、議案第15号、旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第16号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、議案第21号、旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定についての7議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る3月14日午前10時より議会委員会室において、議案説明のため執行部より、副市長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑について申し上げます。

給与費明細の職員数640人と再任用職員等29人について、定員適正化計画の職員数と比較するとどうなるのかとの質疑では、職員数640人は一般会計上の人数であり、他会計を含め実数は674人となっている。定員適正化計画での平成30年度の目標値は682人であり、計画より先行して職員数が減となっている。再任用職員等については、現在週3日勤務を上限としていることから定数に入らないため、定員適正化計画との比較はできないとの答弁がありま

した。

次に、議案第2号の主な質疑について申し上げます。

中央病院の看護師宿舎の建設等に市債を充てることについて、病院の経営実態を把握した上で、本当に借りる必要があるのかとの質疑では、地方独立行政法人に移行している中央病院の施設整備、機械器具の購入に係る借り入れについては交付税算入され、中央病院の経営上利益になる部分がある。少しでも利益を得られて収益上有利になるものであれば、今の収益の状況、決算の状況から返済していけることを踏まえ、新たに起債を利用して建てるということも手法としてあるとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告のとおり議案第2号は賛成多数で、その他の議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成31年3月19日、総務常任委員長、伊藤保。

○議長（向後悦世） 総務常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託議案に対する各委員長の報告は終わりました。

◎日程第2 質疑、討論、採決

○議長（向後悦世） 日程第2、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

ただいまの各委員長の報告に対し、一括して質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。

議案第1号について討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

高木寛議員、ご登壇願います。

（9番 高木 寛 登壇）

○9番（高木 寛） 議席番号9番、日本共産党、高木寛です。

私は、議案第1号に対して反対の立場で討論を申し上げます。

安倍首相は、戦後最長の景気回復と自慢しています。そして、この10月から消費税を10%にする方向へ進んでいます。それに国保税大幅値上げの動きがあります。国保の都道府県化が要因と指摘します。

それらに増して、安倍晋三首相は、憲法第9条を変えて戦争をする国づくりを進めています。こういう政治姿勢の国の方針に市長は、国の施策だからと何も言えない姿勢だと指摘します。地方自治体の主要な役割は、住民の生活と健康を守り、市民に寄り添った施政の予算であることです。国や県の言いなりになって、住民サービス、住民生活に犠牲を強いる予算であってはならないものです。

議案第1号の新庁舎建設事業では、建設資材が高騰しているこの時期の建設ではなく、先延ばしをすべきであり、旭市の人口予測も減少する状況ですので、庁舎建設もコンパクト化すべきだと反対します。

旭中央病院アクセス道整備事業、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業、南堀之内バイパス整備事業などは不要不急の事業なので、予算計上反対です。

財政調整基金などの積立金を取り崩して、学校給食費完全無料化や学校体育館へのエアコン設置や国保税軽減、水道料金引き下げなど、住民の生活と健康を守るための予算編成であるべきだと思います。

以上を指摘して反対討論といたします。

○議長（向後悦世） 米本弥一郎議員、ご登壇願います。

（6番 米本弥一郎 登壇）

○6番（米本弥一郎） 皆さん、おはようございます。議席番号6番、米本弥一郎です。

私が胸につけているオレンジリボン、児童虐待防止運動のシンボルです。児童虐待を根絶するには、子どもは親の子であるとともに社会の子どもであり、子育て世代への切れ目のない支援が必要であると申し上げ、議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決について、賛成の立場から討論を行います。

現在、国においては、一億総活躍社会の実現に向けた取り組みや、東日本大震災からの復興、防災力の強化、さらには10月に予定されている消費税率の引き上げに対する経済対策、幼児教育・保育の無償化といった政策が展開されています。

旭市においても、人口減少に歯止めをかけ、将来の地域の成長、活力を維持していくための施策が平成31年度予算に盛り込まれています。定住促進のための奨励金交付事業や住宅リフォーム補助は、定住・移住を考える若い世代にとって魅力的な制度であります。出産祝金

支給事業、子ども医療費助成、公立保育所の給食・主食提供、病児保育を取り入れた海上保育所改築などは、子育て世代にとって安心して子育てができる包括的、継続的な施策であります。

さらに、各種住民健診や感染症予防への助成、コミュニティバスのルート再編やデマンド交通の導入により、市民の皆様の利便性向上を図るなど、子どもから若い世代、高齢者にわたる各世代が生き生きと暮らせるための事業が盛り込まれております。新庁舎建設も、有利な財源を利用しての建設となっております。また、各産業の振興策や道路整備については、震災復興、津波避難道路、旭中央病院アクセス道といった基幹道路から市民にとって身近な道路、排水の整備まで、十分配慮された予算編成であります。

明智市長並びに執行部におかれましては、今後の財政状況が決して楽観視できない状況ではありますが、市民が安心して暮らせるまちづくり、旭市は魅力的だ、住み続けたい、住んでみたいと感じるまちづくりに尽力していただきたいと要望いたしまして、私の賛成討論いたします。

○議長（向後悦世） 高橋利彦議員、ご登壇願います。

（20番 高橋利彦 登壇）

○20番（高橋利彦） 議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算について、反対の立場で討論を行います。

旭市は、財政調整基金、つまり貯金もたくさんあり、また有利な財源を活用し、事業をたくさん実施しても財政状況がよいと市民に説明し、私も市民もそれを信じていました。

しかし、先般の答弁で、交付税については合併時と比較して12億6,000万円の増額と、少ないのに驚きました。しかも、そのうち10億7,000万円が中央病院への繰り出し、市の分は1億8,000万円です。また、借金の返済に伴う公債費算入分として15億3,000万円となっておりますが、反面、市が自由に使える真水分の交付税は13億5,000万円も減っています。一般家庭に例えれば、生活費分が大きく減っています。これでは市民の要望に応える行政運営ができません。

そのような中で、計画性のないサッカー場建設事業の予算が計上されています。飯岡地区の活性化に資するとの名目で建設するとのことですが、先日の答弁では、活用方法が全く決まっていない。また、誘致活動などについても考えていないとのことでした。このような計画性のない施設、これでは宝の持ち腐れになってしまいます。以前、市長が文化の杜公園の利用人数、1日当たり50人から100人程度と話していましたが、それらと同じにな

ってしまいます。サッカー場を整備しても、全く施設を利用しない日が1年を通じて大半では、貴重な市民の税金を使って整備しても無駄になってしまいます。

また、平成32年度末の完成を目指す新庁舎に太陽光発電施設の設置についても、全く費用対効果を考えない設置です。民間が設置する太陽光システムは、借地をして地代を払っても収益を上げています。一般的に、行政が建設する施設は金額が高いと言われている中で、今回の庁舎の太陽光発電システムは、国の施策に沿ってとは言いながら、売電価格は20年間で400万円、設置費用は1,900万円と、なぜこのような高額な設置をしなければならないのか、私には考えられません。市民にも説明できないと思います。市民も議員の皆さんも、自分の家なら絶対に設置をしないと思います。

このような無駄なお金を使うなら、今の旭市を築き上げた高齢者の方々のための充実した施策が可能であります。しかし、行政改革という錦の御旗を掲げての敬老会事業や長寿祝金の削減など、私には考えられません。このような無駄な金を使うなら、高齢者の方々に喜んでいただける施策を充実させるべきだと考えます。

また、現在工事が始まっている3市での広域ごみ施設整備を行っていますが、これについても交付税で算入されるということですが、これについても交付税の総額では増えますが全部ひもつき分で、一般分、つまり自由に使える真水分が減ってしまいます。

このような財政状況で交付税の意味を全く理解していない予算編成では、効率的健全財政を保つことはできなく、市民不在の市政運営となってしまいますが、先ほども言いましたが、中身を見ると全部ひもつき、中央病院分の算入、これは全額中央病院へ繰出金として支出してしまいます。

また、公債費分、これは借り入れた金額の借金返済分になります。これらひもつき分を除くと、真水分、つまり自由に使える部分は逆に減っています。

また、基金が増額になっているという話ですが、借金である臨時財政対策債の残額より財政調整基金の額は全く少ないのが現状です。これでは、基金がある、つまり貯金があるとは間違っても言えません。臨時財政対策債は、本来国が交付税として交付すべき額を市町村に借金を負わせ、その分を交付税で算入するものです。

本来、財源が不足しなければ、臨時財政対策債として借金をしなくても交付税に算入されます。臨時財政対策債は、交付税の算定で臨時財政対策債発行可能額に対して交付税に算入されるもので、経営状況のよい市町村であれば借り入れを行いません。当然、その分が交付税に算入されるものであるからであります。全額財政調整基金に積み立てることができます。

しかし、本市では財源に余裕がないので借金をして、毎年借金返済のための財源になってしまいます。いわゆるひもつき財源となっています。

このような状況を市民に説明しないで、健全財政を堅持していると説明していますが、中身はますます厳しい状況となっています。また、今年10月から消費税値上げに伴う経費の増大、物件費などの施設の維持管理費の増大、計画のない施設整備や不必要な設備の設置、これらの費用の増大に伴い、市の財政状況は数年後に火の車になってしまいます。

このような予算編成では、人口が減少する中で税金などの自主財源の確保が難しい状況で、交付税に頼っている本市では自由に使える交付税が減額し、財政状況は厳しさを増して、市民が要望する行政サービスができなくなってしまいます。市民には的確に財政状況を説明するとともに、費用対効果を考え、民間企業と同じような経営感覚で施設整備を行い、施設の整備目的や利用方法などを十分に考え、事業を実施しなければなりません。市民が真に要望する施策として、行政運営をしなければなりません。行政は、市民あつての市であることを認識して、行政運営に努めていただきたいと思います。

以上で反対討論を終わりますが、賛成討論においてはすれ違いのないよう、整合性のある討論をお願いします。

○議長（向後悦世） 伊藤保議員、ご登壇願います。

（12番 伊藤 保 登壇）

○12番（伊藤 保） 議員番号12番、公明党、伊藤保。

私は、議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決について、賛成の立場から討論を行います。

提案された平成31年度当初予算は、市長が本定例会冒頭の施政方針の中で表明されておりましたが、合併による国の財政支援の終期を見据えた中で、歳出の見直しを進めながら、旭市総合戦略や旭市公共施設等総合管理計画などの各種計画に掲げる諸施策を確実に推進しつつ、本市の一体性の確立と均等ある発展を目指すことを基本としており、旭市総合戦略に掲げている四つの重点施策に沿って、本市が引き続き重点的に取り組むべき施策を盛り込んだバランスのとれた予算編成にされており、その成果が十分期待できるものであります。

その中には、市の基幹産業である全国トップレベルを誇る農業産地としての特性を生かした施策が予算計上されており、水産業、商工業、観光業の施策と併せ、さらなる産業振興の強化拡大が期待できるものであります。

次に、子育て育成については、3歳児以上の給食の主食部分の提供や、公立保育所におけ

る英語教育の導入、子ども医療費助成事業など、子育て支援に対する本市の取り組みは、若い世代が安心して子育てできるまちとして、皆さんに理解されていくものと期待されます。

ふるさと創出の面では、全国的な課題である人口減少対策として、本市では定住促進奨励金交付事業を行っておりますが、この4月から最大で150万円を交付できるよう、事業の内容拡大が図られ予算計上されております。若者や子育て世代にとっては魅力的な政策であり、定住・移住の促進に寄与されることが期待できます。

さらに、地域交通網の充実を図るため、コミュニティバスルートの再編、デマンド交通システムの導入等を盛り込まれており、市民生活の利便性向上も期待できるものであります。

また、市民の安心・安全を図る面では、震災復興、津波避難道路整備や旭中央病院アクセス道などの基幹道路から、要望が多い地区内の生活道路の整備まで、きめ細やかな配慮がなされており、市民の安心・安全を大切に考えている思いが感じられるものであります。

今回の予算規模は、合併後最大規模となっておりますが、これは市民の生活を第一に、子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちづくりを積極的に行うための予算です。私が市議会議員になって以来14年目になりますが、議案に反対し、修正の動議を行い、修正案を出した議員はいまだかつて見たことがありません。そもそも予算は執行側がつくるものであって、議会はどのような事業に適正に使われるかチェックをし、適正でないものは修正の動議を行い、修正案を提出しなくてはなりません。そうでなければ、当初予算全部に反対することになります。反対となれば事業は遅れ、市民生活や市民に対する行政サービスも混乱することとなります。

このことをつけ加え、執行側におかれましては旭市民約6万6,000人の負託に応えるべく、なお一層の堅実な行政運営に努めていただき、将来の旭市の持続的発展を目指していただきますようお願いいたしまして、私の討論といたします。

○議長（向後悦世） 以上で議案第1号について通告による討論は終わりました。

続いて、議案第2号から議案第25号までの24議案について、討論の通告はありません。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 討論なしと認めます。

これより議案第1号から議案第25号までの25議案について採決いたします。

議案第1号、平成31年度旭市一般会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（向後悦世） 賛成多数。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号、平成31年度旭市病院事業債管理特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号、平成31年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

議案第4号、平成31年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

議案第5号、平成31年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

議案第6号、平成31年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

議案第7号、平成31年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

議案第8号、平成31年度旭市水道事業会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

議案第9号、平成30年度旭市一般会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

議案第10号、平成30年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

議案第11号、平成30年度旭市農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成全員。

よって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

議案第12号、旭市森林環境整備基金条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第12号は原案のとおり可決されました。

議案第13号、旭市企業誘致及び雇用の促進に関する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

議案第14号、旭市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

議案第15号、旭市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

議案第16号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

議案第17号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

議案第18号、旭市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

議案第19号、旭市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

議案第20号、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

議案第21号、旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第21号は原案のとおり可決されました。

議案第22号、旭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

議案第23号、旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

議案第24号、旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

議案第25号、市道路線の認定、廃止及び変更について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 全員賛成。

よって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 常任委員長請願報告

○議長（向後悦世） 日程第3、常任委員長請願報告。

文教福祉常任委員会に付託いたしました請願の審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

文教福祉常任委員会委員長、飯嶋正利議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 飯嶋正利 登壇）

○文教福祉常任委員長（飯嶋正利） 文教福祉常任委員会委員長の請願報告を申し上げます。

去る3月4日の本会議におきまして本委員会に付託されました、請願第1号、旭市の子ども貧困対策の更なる充実を求める請願の1件の請願について、審査経過並びに結果を申し上げます。

請願審査は、3月13日付託議案の審査終了後、本請願について紹介議員及び参考人により説明を受け、担当課から参考意見を求めた後、直ちに審査を行いました。

審査では特に意見はなく、別紙報告書のとおり、賛成少数で不採択と決しました。

以上のとおりご報告いたします。

平成31年3月19日、文教福祉常任委員会委員長、飯嶋正利。

○議長（向後悦世） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託請願に対する委員長の報告は終わりました。

◎日程第4 質疑、討論、採決

○議長（向後悦世） 日程第4、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

請願第1号の委員長報告に対し質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

これより請願第1号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

これより請願第1号について採決いたします。

この請願に対する委員長の報告は不採択です。

請願第1号、旭市子どもの貧困対策のさらなる充実を求める請願について、採択と決するに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成少数。

よって、請願第1号は不採択と決しました。

◎日程第5 常任委員長陳情報告

○議長(向後悦世) 日程第5、常任委員長陳情報告。

各常任委員会に付託いたしました陳情審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

初めに、文教福祉常任委員会委員長、飯嶋正利議員、ご登壇願います。

(文教福祉常任委員長 飯嶋正利 登壇)

○文教福祉常任委員長(飯嶋正利) 文教福祉常任委員会委員長の陳情報告を申し上げます。

去る3月4日の本会議におきまして本委員会に付託されました、陳情第1号、「幼児教育・保育の『無償化』に係わる制度の拡充、及び、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を求める陳情、陳情第3号、後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める陳情の陳情2件について、審査経過並びに結果を申し上げます。

陳情審査は、去る3月13日、付託議案の審査終了後、本陳情について担当課から参考意見を求めた後、直ちに審査を行いました。

審査では特に意見はなく、別紙報告書のとおり、陳情第1号については可否同数となり、委員長裁決で不採択と決し、陳情第3号については、賛成者はなく不採択と決しました。

以上のとおりご報告申し上げます。

平成31年3月19日、文教福祉常任委員長、飯嶋正利。

○議長(向後悦世) 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

続いて、総務常任委員会委員長、伊藤保議員、ご登壇願います。

(総務常任委員長 伊藤 保 登壇)

○総務常任委員長(伊藤 保) 総務常任委員会委員長の陳情報告を申し上げます。

去る3月4日の本会議において本委員会に付託されました、陳情第2号、「会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を要請する陳情の陳情1件について、審査経過並びに結果を申し上げます。

陳情審査は、3月14日、付託議案の審査終了後、本陳情について担当課から参考意見を求めた後、直ちに審査を行いました。

審査では特に意見はなく、別紙報告のとおり全員賛成で採択と決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成31年3月19日、総務常任委員長、伊藤保。

○議長(向後悦世) 総務常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託陳情に対する委員長の報告は終わりました。

◎日程第6 質疑、討論、採決

○議長(向後悦世) 日程第6、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

各委員長の報告に対し一括して質疑に入ります。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 質疑なしと認めます。

これより一括して討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

これより陳情第1号について採決いたします。

この陳情に対する委員長の報告は不採択です。

陳情第1号、「幼児教育・保育の『無償化』に係わる制度の拡充、及び、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を求める陳情について、採択と決するに賛成の

方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成少数。

よって、陳情第1号は不採択と決しました。

続いて、陳情第2号について採決いたします。

この陳情に対する委員長の報告は採択です。

陳情第2号、「会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書」の提出を要請する陳情について、採択と決するに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、陳情第2号は採択と決しました。

続いて、陳情第3号について採決いたします。

この陳情に対する委員長の報告は不採択です。

陳情第3号、後期高齢者の窓口負担の原則1割負担の継続を求める陳情について、採択と決するに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成少数。

よって、陳情第3号は不採択と決しました。

ここでしばらく休憩いたします。

休憩 午前11時 1分

再開 午前11時30分

○議長(向後悦世) 休憩前に引き続き会議を開きます。

発言の訂正を申し上げます。

先ほど、陳情第2号の採決について賛成多数と申し上げましたが、録画映像を確認したところ全員賛成でしたので、全員賛成と訂正させていただきます。

本日、発議案が提出されました。

提出されました発議案は、発議案第1号、会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書の提出についての1議案であります。

また、本日、市長より追加議案の送付があり、これを受理いたしました。

追加のありました議案は、議案第28号から議案第31号までの工事請負契約の締結についての4議案であります。

配付漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 配付漏れないものと認めます。

ただいま発議案と追加議案に伴う追加日程について、議会運営委員会を開催していただきました。その結果につきまして、議会運営委員長の報告を求めます。

佐久間茂樹議員、ご登壇願います。

(議会運営委員長 佐久間茂樹 登壇)

○議会運営委員長(佐久間茂樹) ただいま議会運営委員会を開きまして、発議案と追加議案の提出に伴う追加日程について協議をいたしましたので、その内容についてご報告申し上げます。

本日提出されました発議案は、発議第1号、会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書の提出についての1発議案と、追加議案については、市長より提案のありました議案第28号から議案第31号までの工事請負契約の締結についての4議案であります。

それでは、議事日程の協議結果について申し上げます。

お手元に配付してあります平成31年旭市議会第1回定例会議事日程その2、本日3月19日火曜日、この後、追加日程第1、発議案上程、追加日程第2、提案理由の説明、追加日程第3、質疑、討論、採決、追加日程第4、議案上程、追加日程第5、提案理由の説明、追加日程第6、議案の補足説明。補足説明については、財政課長を予定しております。追加日程第7、議案質疑、追加日程第8、討論、採決。

以上で追加日程の協議についての報告を終わります。よろしく申し上げます。

○議長(向後悦世) 議会運営委員長の報告は終わりました。

おはかりいたします。発議案第1号の1発議案及び議案第28号から議案第31号までの4議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（向後悦世） ご異議なしと認めます。

よって、本議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることに決しました。

◎追加日程第1 発議案上程

○議長（向後悦世） 追加日程第1、発議案上程。

発議案第1号の1発議案を上程いたします。

◎追加日程第2 提案理由の説明

○議長（向後悦世） 追加日程第2、提案理由の説明。

提案理由の説明を求めます。

発議案第1号について、総務常任委員会委員長、伊藤保議員、ご登壇願います。

（総務常任委員長 伊藤 保 登壇）

○総務常任委員長（伊藤 保） それでは、発議第1号について提案理由を申し上げます。

発議第1号、会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書の提出についての提案理由を申し上げます。

本発議案については、意見書を朗読して提案理由の説明に代えさせていただきます。

会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書。

平成28年に実施した総務省調査によると、自治体で働く臨時・非常勤職員は全国で64万人とされ、いまや自治体職員の3人に1人が臨時・非常勤職員である。

職種は行政事務職のほか保育士、学童指導員、学校給食調理員、看護師、医療技術者、各種相談員、図書館職員、公民館職員、学校教育など多岐にわたり、その多くの職員が恒常的業務に就いており、地方行政の重要な担い手となっている。

こうした状況を受け、平成29年5月11日には地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が成立し、新たに会計年度任用職員制度が導入されるなど、非常勤職員を法的に位置づけるとともに、職務給の原則に基づき、常勤職員との均等待遇が求められている。

来年4月の法施行に向けて、各自治体においては、任用実態の調査、把握のほか、関係条

例・規則等の改正や待遇改善に伴う新たな予算の確保などが必要となっている。

行政サービスの質と量の維持や、臨時・非常勤職員の待遇改善、雇用安定の観点から、次のことが措置されるよう強く要望する。

1、会計年度任用職員制度の施行に伴う、賃金労働条件の整備に必要な地方自治体の財源を確保すること。

2、任期の定めのない常勤職員を中心とした公務運営の原則を堅持するよう努めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書の提出先でございますが、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣宛てでございます。

皆様のご賛同をお願い申し上げまして、提案理由といたします。

○議長（向後悦世） 提案理由の説明は終わりました。

◎追加日程第3 質疑、討論、採決

○議長（向後悦世） 追加日程第3、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

発議案第1号の1発議案を議題といたします。

発議案第1号について、質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

これより発議案第1号について討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 討論なしと認めます。

これより発議案第1号について採決いたします。

発議案第1号、会計年度任用職員制度の施行に伴う、国の地方自治体への十分な財政措置を求める意見書の提出について、賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（向後悦世） 全員賛成。

よって、発議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎追加日程第4 議案上程

○議長（向後悦世） 追加日程第4、議案上程。

議案第28号から議案第31号までの4議案を一括上程いたします。

◎追加日程第5 提案理由の説明

○議長（向後悦世） 追加日程第5、提案理由の説明。

提案理由の説明を求めます。

明智市長、ご登壇願います。

（市長 明智忠直 登壇）

○市長（明智忠直） 本日、議案4件を追加提案し、ご審議を願うことといたしました。

追加議案の提案理由についてご説明申し上げます。

議案第28号から第31号までは、工事請負契約の締結についてでありまして、議案第28号は旭市新庁舎建設建築工事について、議案第29号は旭市新庁舎建設電気設備工事について、議案第30号は旭市新庁舎建設機械設備工事について、議案第31号は旭市総合体育館屋根・外壁改修工事について、それぞれ仮契約を締結いたしましたので、これらの契約について議会の議決を求めるものであります。

詳しくは事務担当者から説明し、また質問に応じてお答えいたしますので、何とぞご賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（向後悦世） 提案理由の説明は終わりました。

◎追加日程第6 議案の補足説明

○議長（向後悦世） 追加日程第6、議案の補足説明。

議案の補足説明を求めます。

議案第28号から議案第31号までの4議案について、財政課長、登壇してください。

(財政課長 伊藤憲治 登壇)

○財政課長（伊藤憲治） 議案第28号から議案第31号について補足説明を申し上げます。

この4議案は、いずれも工事請負契約の締結についてでありまして、まず議案第28号について申し上げます。

恐れ入りますが、裏面をご覧ください。

契約の名称は、旭市新庁舎建設建築工事であります。

契約方法は、一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。平成31年1月15日に入札の公告を行い、2月1日まで入札参加資格申請の受け付けを行ったところ、特定建設工事共同企業体2者から申請があり、2者とも資格要件を満たしておりました。この2者による入札書の受け付けを2月8日から3月11日まで行い、2者から応札があり、3月12日に開札した結果、予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札した奥村・阿部特定建設工事共同企業体を契約の相手方といたしました。

代表者は、千葉市中央区新町18-14、株式会社奥村組東関東支店、支店長、永井寧であります。構成員は、旭市ニの528番地、阿部建設株式会社、代表取締役、阿部典義であります。

契約金額は35億9,640万円であります。なお、予定価格は41億1,696万円、最低制限価格は32億9,356万8,000円、落札率は87.36%でありました。

仮契約締結日は3月14日、工事の期限は平成32年12月28日であります。

続いて議案第29号について申し上げます。

同じく裏面をご覧ください。

契約の名称は、旭市新庁舎建設電気設備工事であります。

契約方法は、一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。公告日から開札日までは建築工事と同様であります。入札参加資格申請のあった特定建設工事共同企業体5者、全て資格要件を満たしており、この5者から入札書の提出がございました。開札の結果、予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札した橋本・鈴木特定建設工事共同企業体を契約の相手方といたしました。

代表者は、千葉市花見川区作新台四丁目16番10号、株式会社橋本電業社、代表取締役、橋本淳であります。構成員は、旭市口の244番地、鈴木電設株式会社、代表取締役、時盛克良であります。

契約金額は5億5,242万円あります。なお、予定価格は6億8,958万円、最低制限価格は

5億5,166万4,000円、落札率は80.11%でありました。

仮契約締結日は3月14日、工事の期限は平成32年12月28日であります。

続いて、議案第30号について申し上げます。

裏面をご覧ください。

契約の名称は、旭市新庁舎建設機械設備工事であります。

契約方法は、一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。公告日から開札日までは建築工事及び電気設備工事と同様であります。入札参加資格申請のあった特定建設工事共同企業体3者、全て資格要件を満たしており、この3者から入札書の提出がございました。開札の結果、予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札した三建・芝特定建設工事共同企業体を契約の相手方といたしました。

代表者は、千葉市中央区中央一丁目1番3号、三建設備工業株式会社東関東支店、執行役員支店長、山田幸男であります。構成員は、千葉市中央区本町三丁目3番15号、芝工業株式会社、代表取締役、野口恭男であります。

契約金額は7億3,457万2,800円であります。なお、予定価格は9億1,821万6,000円、最低制限価格は7億3,450万8,000円、落札率は80.00%でありました。

仮契約締結日は3月14日、工事の期限は平成32年12月28日であります。

続いて、議案第31号について申し上げます。

裏面をご覧ください。

契約の名称は、旭市総合体育館屋根・外壁改修工事であります。

契約方法は、一般競争入札により執行いたしました。

入札の経過を申し上げます。公告日から開札日までは新庁舎建設工事と同様であります。入札参加資格申請のあった4者、全て資格要件を満たしており、この4者から入札書の提出がございました。開札の結果、予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札した旭市ニの1469番地、株式会社伊藤工務店、代表取締役、伊藤晃を契約の相手方といたしました。

契約金額は2億4,084万円であります。なお、予定価格は2億9,408万4,000円、最低制限価格は2億3,522万4,000円、落札率は81.89%でありました。

仮契約締結日は3月14日、工事の期限は平成32年2月28日であります。

以上で議案第28号から議案第31号の補足説明を終わります。

○議長（向後悦世） 議案の補足説明は終わりました。

◎追加日程第7 議案質疑

○議長（向後悦世） 追加日程第7、議案質疑。

これより議案質疑を行います。

議案第28号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第29号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第30号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

続いて、議案第31号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（向後悦世） 質疑なしと認めます。

以上で議案の質疑を終わります。

おはかりいたします。議案第28号から議案第31号までの4議案は、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略して直接審議することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（向後悦世） ご異議なしと認めます。

よって、議案第28号から議案第31号までの4議案は、委員会付託を省略して直接審議することに決しました。

◎追加日程第8 討論、採決

○議長（向後悦世） 追加日程第8、討論、採決。

これより討論に入ります。

議案第28号について、討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

続いて、議案第29号について、討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

続いて、議案第30号について、討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

続いて、議案第31号について、討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(向後悦世) 討論なしと認めます。

以上で討論を終わります。

これより議案第28号から議案第31号までの4議案について採決いたします。

議案第28号、工事請負契約の締結について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

議案第29号、工事請負契約の締結について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

議案第30号、工事請負契約の締結について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

議案第31号、工事請負契約の締結について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(向後悦世) 賛成多数。

よって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 事務報告

○議長（向後悦世） 日程第7、事務報告。

事務報告を求めます。

総務課長、登壇してください。

（総務課長 飯島 茂 登壇）

○総務課長（飯島 茂） それでは、篤志寄附を受納しておりますので、ご報告をさせていただきます。

お手元の報告書をご覧くださいと思います。

1つ、畳・マットほか保育所用備品一式を干潟ランオンズクラブ様より、1月8日受納いたしました。

1つ、折り畳みテーブル用台車ほか学校用備品一式を干潟ライオンズクラブ様より、2月12日受納いたしました。

以上で事務報告を終わります。

○議長（向後悦世） 事務報告は終わりました。

◎日程第8 閉 会

○議長（向後悦世） 以上をもちまして、本定例会に提出されました議案等の審議は全部終了いたしました。

これにて平成31年旭市議会第1回定例会を閉会いたします。

長期間にわたり大変ご苦勞さまでした。

閉会 午前11時56分